

科目名	情報技術の基礎	英文表記	Fundamentals of IT	平成23年度3月
科目コード	1015			
教員名：バイティガ ザカリ、佐藤 尚 技術職員名：				作成
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数
全学科	1年	必	履修	3単位
授業形態	講義			
授業期間	通年			
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合	
	①プレゼンテーション技法と電子メールの使い方を学ぶ。		①演習 (5%)	
	②コンピュータリテラシ、情報モラル、そしてネットワークの活用方法とそれを利用する上での心構えを理解する。		②前学期中間試験 (15%)	
	③HTMLによるWEBページ制作の基本を学び、情報発信について理解を深める。		③演習 (10%)	
	④問題解決の方法とそのための情報活用方法、およびマルチメディアについて学ぶ。		④前学期期末試験 (20%)	
	⑤基本的なアニメーションの制作を通して、動画のしくみについて理解を深める。		⑤演習 (20%)	
	⑥コンピュータの構成要素と周辺機器、メディアやネットワークの仕組み、そして情報の歴史について学ぶ。		⑥後学期期末試験 (30%)	
高専目標	1	2	3	4
	◎	○		○
	JABEEプログラム名称			
	JABEEプログラム教育目標			
授業概要、方針、履修上の注意	表計算、プレゼンテーション、電子メール、Webブラウザなどの実習を通してコンピュータリテラシを習得する。次に、コンピュータの構成と動作、通信システムとネットワーク構成、情報セキュリティ技術、情報社会の進展とその影響・課題、情報社会での個人の責任など情報処理と情報通信に関わる基礎的知識と基本技術を学ぶ。			
教科書・教材	高校情報A			
授 業 計 画				
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	予 習 項 目
1	ガイダンス	2	OSの基本操作と沖縄高専におけるネットワークの利用について理解を深める。また、教科内容や授業の進め方・評価方法を説明し、実習室使用上の留意点及び実習用機器の利用法について理解する。	
2～4.5	プレゼンテーションソフト	9	プレゼンテーションの基本を理解し、そのソフトウェアを利用した課題の作成と発表を行うことでプレゼンテーション能力を身につける。	
5～6	情報モラル	4	学内ネットワークを利用する際に注意すべきルールやマナーとセキュリティについて理解を深める。	
7～8	情報とネットワークの活用1 情報の検索と収集	4	インターネットの基本的な仕組みと、Webページの閲覧方法を理解し、検索エンジンの種類について、ディレクトリ型とロボット型の意味と特徴を理解する。	
9～11	情報とネットワークの活用2 情報の伝達と取り決め	6	電子メールを用いた情報の受発信と、異なるソフト同士におけるデータのやり取りを通じた情報の加工・再利用について理解する。	
12～13	情報とネットワークの活用3 ネットワーク利用の心がまえ	4	情報の信憑性と信頼性、個人情報保護や知的財産権・著作権等について理解する。更にネットワークを利用する上で必要最小限のマナーやセキュリティについて理解を深める。加えて、知的財産権について理解する。	

14.5 ～15	中間	1	上記の内容に関する試験を実施する。	
16	情報モラルとネットワーク利用についての復習	2	情報の収集や発信，そして加工をする上で注意すべき点について復習する。	
17～ 23	問題解決と情報活用 (問題解決の工夫・実践)	14	問題解決の意味や解決までの手順を理解する。表計算を中心に文字，表，グラフによる表現を学び，得られた情報の分析方法・技術について理解を深める。	
24～ 29	マルチメディア作品の制作 (WEBページ制作)	12	HTMLによるWEBページ制作の基本を学び，情報発信について理解を深める。(PBL1)	
期末	前期末試験	[1]	上記の内容に関する試験を実施する。	
30～ 31	マルチメディアの活用 (周辺機器の取り扱い)	4	情報機器の取り扱い，コンピュータとそれらに接続されている周辺機器について学習する。	
32～ 40	情報機器の発達と仕組み メディアの仕組み	18	記録メディアの発達と仕組み，通信の発達とコンピュータの発達の過程を理解し，アナログとデジタルの意味，情報の単位などの情報学の基本を学習する。また，基本的なアニメーションの制作を通して，動画のしくみについて理解を深める。(PBL1)	
41～ 42	情報機器の発達と仕組み コンピュータネット	4	コンピュータの基本的な動作の仕組みを理解する。インターネットとLANの仕組みについて理解する。	
43～ 45	情報機器の発達と仕組み 情報の歴史その未来	6	コンピュータやネットワーク，メディアの歴史について解説して現在直面している問題について理解する。	
期末	後期末試験	[1]	上記の内容に関する試験を実施する。	
学習時間合計		90	実時間	75
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)